神宮寺小学校
理科室通信

理科室からこんにちは

第58号

～　親子で理科を楽しもう　～

平成21年12月8日

～　カマキリのたまご2009　その1　～

「去年，カマキリの卵の高さを調べたのを覚えているかい。」
「うん，もちろんだよ。雪にうまっちゃってもカマキリのたまごは生きていて，ちゃんとカマキリがうまれてきたよ。だから，カマキリは雪のつもる高さをよそうするひつようがないの。そしてその年の冬は，たまごよりも高く雪がつもったよ。」
「すばらしい。よく覚えていたね。じゃあ今年も探して，高さを測ろう。レッツ・ゴー！」
「えっ，これからいくの？」
「さあ，ついたよ。」
「早っ！」
「おう，あったあった。」
「早いよ，お父さん…
って，わたしも見つけた！」
「ちゃんと高さを測ってね。」
「うん，分かってるよ。」
「いっぱいあるねえ。」
「あれ？これ，ススキじゃないのにもうんでいるよ。お父さん，木にうんでいるよ（写真左）。」
「本当だ。松の木に産んでいるねえ。でも，小さい松の木だし，産んでいる高さも60cmと，特に高いわけではないね。」

「うん，ふつうの高さだよ。こっち（写真右）もススキじゃなく，木にうんでいるよ。」
「なるほど。どうやらカマキリが卵を産むのは，ススキだけじゃないみたいでね。では，何をもとに卵を産みつけようと思うのだろう。」
「うーん。カマキリに聞いてみようか。ねえカマキリさん。あなたはなんで，その草をえらんで，たまごをうんでいるの。」
「……。」（カマキリ）
「おしえてくれたっていいじゃない。んもー。」
「おいおい……。」

（つづく）